

■3月24日(土)「早春の鶴見緑地で春の生きものを探そう！」

場所／鶴見緑地公園 天候／薄曇り

スタッフ／5名

参加者／大人10名 子供13名 合計23名

観察内容／中央ゲートから公園内に入ると、今年はソメイヨシノが満開でした。少し進み、水溜まりをのぞいてみると、そこには小魚のカダヤシやとても小さな水生昆虫のチビミズムシも泳いでいました。さらに進み、



風車の丘の下の竹林のある広場へ。足元にはヒメオドリコソウ、ナズナ、タネツケバナ、ホトケノザ、ハコベ、オオイヌノフグリ、キュウリグサなど春の草の花がいっぱいです。



林の中に入り、伐採された木の下をスコップで掘ってみると、カブトムシの幼虫が3匹も出てきました。

風車の丘はチューリップが満開、シモクレンも満開でした。ユキ

ヤナギも満開で、ナナホシテントウやアシブトハナアブなどの昆虫が多数来ていました。でも、よく見ると、そこには、とんでもないものが。花にはクモが潜んでいて、やってくる昆虫を食べようと狙っているのです。



鶴見新山の麓を歩いていると、コゲラが木の幹を盛んにつついていました。きっと、木の中の虫を食べているのでしょう。山の広場ではカワズザクラは葉桜となり、アンズの花も散りかけ、枝垂れ桜が満開でした。ここはまだソメイヨシノはあまり咲いていませんでした。西南アジア館の下でも朽木崩しをしました。スズメバチの女王が越冬中でナメクジの卵も見つかりました。最後に、大池の北側で参加者の皆さんに印象に残ったものを発表してもらい終了しました。

